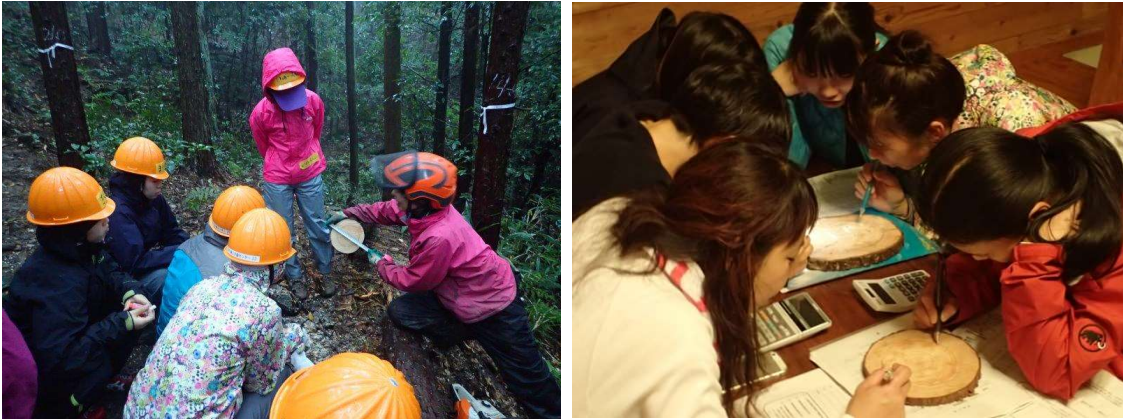


山の棚おろし

日時：平成28年11月19日（土） 9：00～17：00

講師：中島 彩、丹羽 健司

概況



山の棚おろし

今後海上の森で提供できる森林整備活動候補地3箇所を見学した後、山の資産価値を計算するための「山の棚おろし」を学んだ。

○事前予想

・選んだ木の金額、調査地全体の金額を感覚的に予想

○外観からの立木評価

・曲り、腐れ・キズの有無

・枝打ちの有無

○試験伐採木の選定

・平均胸高直径に近い木を選定

○試験伐採木の測定

・樹高、樹冠長、樹冠長率

・1mごとの直径

・採材箇所の決定

・採材箇所の木口の末口直径の測定

○試験伐採木のサンプル取り

・2、4、8m 箇所のサンプル採取(2cm 輪切り)

○試験伐採木の品質調査

- ・年輪数
- ・年輪の幅(最小、最大、平均)
- ・末口二乗法による木材利用箇所材積計算
- ・幹材積表
- ・立木1本あたりの金額計算
- ・ m^3 あたりの平均単価
- ・利用材積歩留り

○調査地内の品質判定・価値の評価

- ・調査地内の曲り、腐れ・キズの割合
- ・調査地内評価係数
- ・調査地内の総幹材積、総利用材積
- ・調査地内の金額

○10年後の材積・価値の変化

- ・間伐を行った場合の成長年輪幅を予測
- ・10年後の胸高直径
- ・10年後の樹高
- ・10年後の幹材積、変化率
- ・30%間伐をした場合の間伐利用材積、間伐材売上金額、間伐後の蓄積量
- ・10年後の総利用幹材積(間伐有りの場合、なしの場合)
- ・10年後の調査地総金額